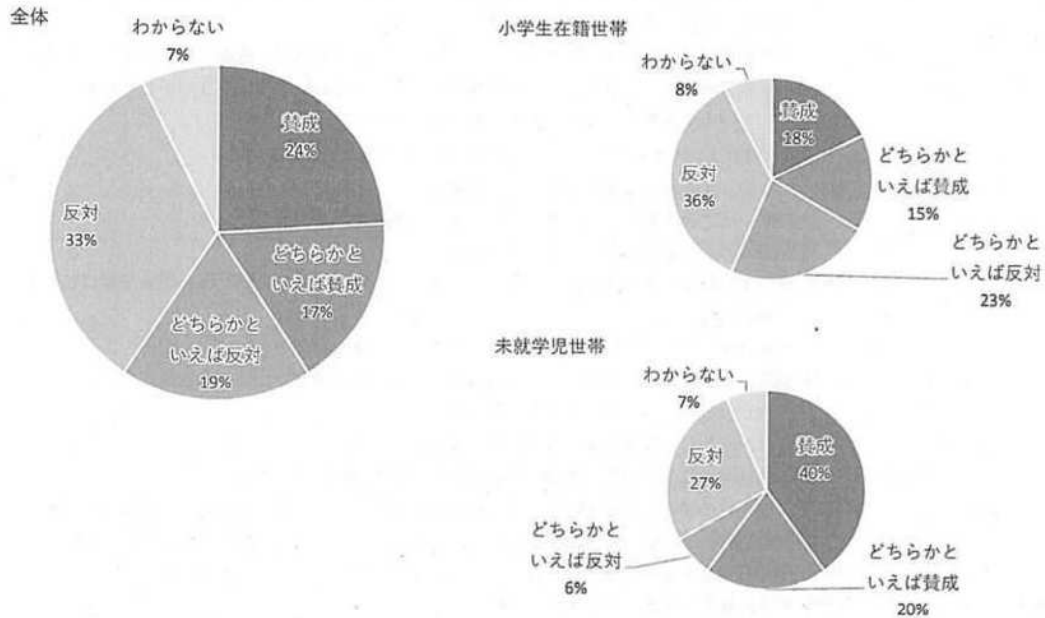


上富小学校の再編（統廃合）に係る意識調査 結果概要

1. 回答率 51%（小学生在籍世帯：57%、未就学児世帯：39%）

2. 統合することについての考え



3. 上富小学校の再編（統廃合）に係るアンケート／統合することについての考えの理由

概要・主な意見(要約)

	3.上富小学校を三芳小学校と統合することについての考え	4.上記のように答えた理由
通学	賛成/どちらかといえば賛成 反対/どちらかといえば反対	通学の安全の確保（道路の改善と通学バスの整備）をしてほしいから 自宅から学校までの通学距離が長くなり、歩いて行かせるのは心配 悪天候時、災害時、不審者など登下校の安全面が心配 毎日の登校が大変になってしまうだけでなく、交通事故等の危険も高まってしまうため スクールバスでも帰りの時間が読めないため
教育効果	賛成/どちらかといえば賛成 反対/どちらかといえば反対	複数の先生に見てもらえるなど、教員数の充実が図られるため 運動会・音楽会・遠足・修学旅行、クラブ活動等の集団活動・行事の教育効果を鑑みて 児童から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じるため 班活動やグループ分けに制約が生じるため 社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい 多様な人々にもまれながら生活していく方が、広い社会に出て生きていく力がつくと思うため 学校は、勉強だけでなく“多様な考え方に触れるとともに、新たな人間関係を築く”場所であるため 単学級、少人数学級が持つ課題（コミュニケーション能力・競争による成長などへの課題）の方が大きいと考えるため 学年が上がるにつれ、クラス、児童内での役割分担が生じ、多様性や新たな価値観の創造を阻害しているため 少人数での細やかな指導、先生達からの手厚い指導や目が行き届いているため 地元の人達とのつながりや郷土の勉強が薄くなるため 行事や畑を体験できる環境が必要なため 少人数でも色々な考え方に触れる機会はあるため 大人数が苦手な子どものため

		不登校が増えると考えするため
教員	賛成/どちらかといえば賛成	慣れない学年を持つ担任の先生が、横を確認できずに大変そうのため
	反対/どちらかといえば反対	生徒が増えることで教師の負担が増え、少人数の方が心にゆとりが生まれると考えするため
人間関係	賛成/どちらかといえば賛成	同性のクラスメイトが少ない学年において、明らかに子ども達の人間関係が乏しいものになっているため
		人間関係が思うようにいかない時に、逃げ道が少なくなるため
		友人関係が固定され、知らない子と仲良くなったり、仲がよくない子とちょうどよい距離感をとって付き合ったりする経験ができないため
		少人数過ぎ、子どもの人数が増える見込みが無いのであれば、統合した方が良いと考えるため
		中学進学時に初めてクラス替えを経験し、社交性の乏しい児童は孤立しがちなため
		子ども達の交友関係や成長に不安があるため
		6年間ずっと一緒と考えると、子ども同士の相性などが心配なため
	反対/どちらかといえば反対	いじめっ子の人数が増えることが不安なため
		仲間（子供達の縦割りでの関係）や先生との関わりを深く持てるため
		全員の顔が分かる状況が素晴らしいと考えるため
環境	賛成/どちらかといえば賛成	他の小学校よりも設備を縮小するという考えであれば、できる限り良い環境で学ばせたいと考えているため
		休み時間にサッカーなどの人数が集まらないとできない遊びがしづらいため
	反対/どちらかといえば反対	耐震工事やトイレの改修、体育館の照明を変えたり遊具を新しくした意味が分からないため
		子供が安心して遊べる場所がなくなるため
		ゆったりとした環境の中で過ごさせてあげたいため
避難所	反対/どちらかといえば反対	地域住民の交流の場、災害時の避難場所にもなる場所であるため
財政	賛成/どちらかといえば賛成	「少人数の学校」の運営に、莫大な税金を将来にわたってかけ続けるべきではないと考えるため
		1校に資金を集中した方が、残る学校に予算をかけて、校舎を改修したりできるため
	反対/どちらかといえば反対	使える財産を確保出来ているなら、無理に統合しなくてもいいと思うため
保護者の利便性等	賛成/どちらかといえば賛成	PTA活動等の保護者の負担が大きいため
	反対/どちらかといえば反対	親の行事への参加が不便になるため
		現在、保護者が協力的なため
その他	賛成/どちらかといえば賛成	学校において言葉の教室など聴覚士や心理士が学校で直接サービスを提供できるような取り組みを希望するため
	反対/どちらかといえば反対	小規模校の小学校しか知らず、小規模校でよかったと思っているため
		学童保育室が遠くなり、子どもの寝る時間が遅くなってしまうため
		母校が好きで、なくなってしまうのは悲しいため
		卒業まで同じ学校であってほしいため
	わからない	生徒数が少ないのは、良いところも悪いところもあるので、賛成反対どちらも選べないため
		今後、三芳小の児童の人数が減っていくことを考えるとやむを得ないとは思うため



2024年 4月 4日

三芳町学校再編等審議会
会長 佐藤 和秀 様

横山 真知子

上富小学校、三芳小学校の存続を求める要望書

三芳町は2021年3月、「公共施設マネジメント基本計画」を作成しました。それは、住民の税金で造った「公の施設」を「そのまま続ける」のか、それとも「なくしていく」のかを検討するものとなっています。

「基本計画」では、学校の統廃合についても触れられていて、現在8校ある小中学校を、将来的には4校に再編するものになっています。

学校の統廃合問題について協議をする「学校再編等審議会」が2023年に設けられ、すでに5回の会議を行っています。計画では、上富小学校を廃止し、三芳小学校に統合するとされています。その三芳小学校も、三芳中学校との小中連携校という形で統合される計画です。

学校の統廃合は、「財源」の視点から生じている計画です。子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、「人格の完成」を目指す教育の目的と照らし合わせても、統廃合が優れた方策であるとはいえません。上富小学校は1クラス約20人と、学習する上でも理想的な人数であり、表現力や積極性などを身につけています。居住地に近い学校は、登下校を含め安心・安全という観点も見過ごせません。地域住民にとっても交流の場であり、災害時の避難場所にもなる、重要な拠点ともいえるべき場所です。

小・中一貫校についても、客観的に優れているという点が検証されているわけではありません。むしろ、学校が大規模化して、一人ひとりの子どもたちを見守る目がゆきとどかなくなる心配が生じます。「財源」を理由に学校の統廃合を進める計画は、子どもたちの健やかな成長を損なうのでは、と心配するものです。

以上の観点より、「学校再編等審議会」委員におかれましては、下記学校の存続署名を添えて要望書を提出しますので、ご検討よろしく申し上げます。